

各都道府県教育委員会教育長様
全国市区町村教育委員会教育長様
全国公立小・中・義務教育・中等教育・特別支援学校長様
教育関係者様

全国公立小中学校事務職員研究会
会長 阿部貴子
第54回全国公立小中学校事務研究大会
実行委員長 渡部誠一

第54回全国公立小中学校事務研究大会 (愛媛大会)の開催について(依頼)

深秋の候、貴職におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から本会の研究活動に対しまして、御理解と御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、第54回全国公立小中学校事務研究大会を開催要項のとおり、Webを活用して開催することになりました。

つきましては、この研究大会を盛大かつ実りのあるものにしたいと存じますので、貴所属職員の参加につきまして、格段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

学校事務のミッション ―子どもの豊かな育ちを支援する―
第54回全国公立小中学校学校事務研究大会（愛媛大会）
開 催 要 項

- 1 大会テーマ 「次世代の学校づくりを推進するヒューマンリソース」
― 未来へつなぐ「愛」の架け橋 ^{ひと}人財を生かす学びの場の創造 ―

- 2 目 的 子どもは地域社会のなかで人とかかわり、様々な価値観に触れ、気づきや経験を重ねながら生きる力を身に付けていく。その育ちを保障するためには、目標を共有した多様な人材が力を発揮することが重要である。学校が人的資源の可能性を見出し価値を高めることは、目指す子ども像の実現とともに一人一人が活躍する地域づくりへもつながると考える。本大会では、次世代の学校づくりを推進するヒューマンリソースと、そのマネジメントを担う事務職員・共同学校事務室の姿を追究する。

- 3 主 催 全国公立小中学校学校事務職員研究会

- 4 共 催 四国地区公立小・中学校学校事務職員研究会 愛媛県教育研究協議会
愛媛県公立小中学校学校事務長会

- 5 主 管 愛媛県教育研究協議会事務職員部
(全国公立小中学校学校事務職員研究会愛媛支部)

- 6 後 援 文部科学省 全国都道府県教育長協議会 愛媛県教育委員会 徳島県教育委員会
高知県教育委員会 香川県教育委員会 指定都市教育委員会協議会
全国市町村教育委員会連合会 全国都市教育長協議会 全国町村教育長会
愛媛県市町教育委員会連合会 全国連合小学校長会 全日本中学校長会
愛媛県小中学校長会 愛媛県小中学校教頭会 公益財団法人愛媛県教育会
公益社団法人日本PTA全国協議会 愛媛県PTA連合会
公益財団法人日本教育公務員弘済会 公益財団法人日本教育公務員弘済会愛媛支部
一般財団法人教職員生涯福祉財団 愛媛県学校生活協同組合連合会
公益社団法人日本教育会

- 7 期 日 令和5年1月12日（木）～2月17日（金）
研究討議ライブ配信 令和5年1月26日（木） 10時30分～16時15分
1月27日（金） 9時15分～16時30分

8 内 容 Webによる動画視聴及び資料取得による研究大会開催

(1) 開会式・文部科学省行政説明

内 容	掲載開始日	掲載終了日
・研究集録	1月12日(木)	2月17日(金)
・開会式	1月12日(木)	2月17日(金)
・文部科学省行政説明	1月12日(木)	2月17日(金)

(2) 全体研究会Ⅰ(本部研究提案)・支部研究提案・全事研コーナー

内 容	掲載開始日	掲載終了日
・全体研究会Ⅰ (本部研究提案)	1月12日(木)	2月17日(金)
・支部研究提案 長崎支部・岡山支部・徳島支部 香川支部・高知支部・愛媛支部	1月13日(金)	2月17日(金)
・全事研コーナー	1月13日(金)	2月17日(金)

※提案に対する質問・御意見をWebで受け付けます(1月19日(木)締め切り)。

(3) 研究討議(分科会)【ライブ配信】

内 容	ライブ配信日	備考
・本部研究討議		
・支部研究討議 長崎支部・岡山支部・徳島支部 香川支部・高知支部・愛媛支部	1月26日(木) 1月27日(金)	2月17日(金) まで録画動画掲載

※ライブ配信は分科会ごとに時間を区切って行います。詳細は大会ホームページにて御確認ください。また、研究討議のライブ配信を行わない支部もありますことを御了承ください。

(4) 全体研究会Ⅱ(シンポジウム)・第55回全国公立小中学校事務研究大会(福井大会)PR
・閉会式(引継式)

内 容	掲載開始日	掲載終了日
・全体研究会Ⅱ(シンポジウム)	2月7日(火)	2月17日(金)
・福井大会PR	2月7日(火)	2月17日(金)
・閉会式(引継式)	2月7日(火)	2月17日(金)

9 参加者 全国公立小中学校事務職員研究会会員

※学校事務担当職員、教育委員会事務局職員及び教育関係者等の方で参加を希望される場合は、賛助会員になっていただくことで本大会への参加が可能となります。

10 参加費 なし

11 研究テーマ

<p>本部研究分科会 (全事研本部)</p>	<p>テーマ 次世代の学校づくりを推進するヒューマンリソース － 子どもの生きる力をはぐくむ持続可能な人材戦略 －</p>
<p>第1分科会 (長崎支部)</p>	<p>テーマ 2022 長崎 学校事務の変 － 様々な資源と学校をつなぐ「Hub」となる学校事務職員 －</p>
<p>第2分科会 (岡山支部)</p>	<p>テーマ 「チーム学校」の原動力となるために － 事務職員が人財となる・人財をつなぎ組織力を高める －</p>
<p>第3分科会 (徳島支部)</p>	<p>テーマ Make a リーダー！ － 標準的職務通知が発出された今、 なりたい事務職員になる！〇〇を越えて －</p>
<p>第4分科会 (香川支部)</p>	<p>テーマ 令和！めざせ！進化系事務職員 － 二刀流ならぬ三刀流？ユーティリティプレイヤーへの挑戦 －</p>
<p>第5分科会 (高知支部)</p>	<p>テーマ 企画系事務職員、成長中！ － みんながハッピーになる教育環境の実現を目指して －</p>
<p>第6分科会 (愛媛支部)</p>	<p>テーマ 学校力を高める学校事務の在り方 － 学校事務のバージョンアップと学校事務職員のグレードアップ －</p>

第54回全国公立小中学校事務研究大会（愛媛大会）

1 大会テーマとそのねらい

戦略領域「ヒューマンリソース」

大会テーマ「次世代の学校づくりを推進するヒューマンリソース」

第9次研究中期計画では、学校事務のミッションを達成するための課題として、五つの戦略領域を設定しています。それにより、持続可能な社会の創り手となる人材をはぐくむ新たな学校像を創造するための学校マネジメントに必要な組織力やリーダーシップ、多様な主体との協働等について追究します。4年次に当たる愛媛大会では、「ヒューマンリソース」を軸に、より良い学校づくりの具現化に向けた理論研究・実践研究等を通して、ミッションである「子どもの豊かな育ちを支援する」学校事務を追究し、教育の質やその効果を高めることを目指します。

少子高齢社会を背景として、学校の小規模化や学校数の減少も進んでいます。このことは教育活動の幅の狭まりや、地域の教育力の低下といった課題を生んでいます。また、共働き世帯やひとり親家庭といった家族形態の変容により子育てに対して様々な価値観が生まれるなか、家庭の教育力の向上も課題となっています。子どもの生きる力は、多様な人々とかかわり、様々な経験を重ねていくなかではぐくまれるものであることから、地域を活性化し、子どもが主体的に学び続ける土壌を養うことが必要です。また、毎年のように全国各地で自然災害が頻発し、甚大な被害が発生しています。いつ発生するか分からない災害に備え、相互に助け合うことが重要であり、地域コミュニティにおける共助を効果的に引き出すためにも地域住民のつながりを築き、地域の力を向上させることは不可欠です。

学校は子どもの生きる力をはぐくむ学びの場であるとともに、子どもの学びを創るという同じ目標をもった人同士が安全・安心につながるができる場であることを生かし、学校づくりとともに、地域づくりをも推進していくことができると考えます。このような時代だからこそ改めて人の価値を見直し、組織力を高めていくことが求められています。

ヒューマンリソース（Human Resource）とは人的資源を意味する言葉ですが、単なる労働力ではなく、各主体がもつ経営における重要な資源と捉えた言葉です。ヒューマンリソースを他の様々な経営資源と効果的に組み合わせることでその力が十分に発揮されます。また、適切な管理、育成によって成長し、組織に新たな価値を生み出すものでもあります。学校にかかわるすべてのヒトと子どもの学びを協創する地域とともにある学校を実現するためには、無限の可能性を秘めているヒューマンリソースを最大限に活用していく適切なマネジメントが必要です。

令和2年7月には、文部科学省から「事務職員の標準的な職務の明確化に係る学校管理規則参考例等の送付について」が通知されました。そこには、専門性を生かし、積極的に参画する業務としてカリキュラム・マネジメントの推進に必要な人的・物的資源等の調整・調達や学校と地域の連携・協働の推進について等も示されています。事務職員は子どもの学びを充実させるために、校務運営にかかわる分野についても、学校組織における唯一の総務・財務等に通ずる専門職として、現状の役割に留まることなく、主体的に取り組んでいくことが求められています。

以下の課題を整理し、学校づくりにおけるヒューマンリソース・マネジメントの重要性を確認するとともに、それを担う事務職員の役割、キャリア形成・能力開発、共同学校事務室の在り方や機能について考えます。

- (1) 持続可能な協働体制を構築する学校の在り方
- (2) ヒューマンリソース・マネジメントを推進する事務職員・共同学校事務室の役割

今大会の主管である愛媛県は柑橘類の生産量日本一であり、その品目数も日本一を誇っています。（令和2年産 農林水産統計）オンラインでの大会ではありますが、様々な柑橘類を豊かに育てることのできるあたたかい土壌をもつ愛媛の地を感じながら、多様な主体の力を引き出し、子どもの学びを豊かなものにする人材戦略の在り方やそこに果たす事務職員・共同学校事務室の役割を共に考え、「子どもの豊かな育ちを支援する」学校事務の実現へとつなげていきましょう。

2 全体研究会Ⅰ 本部研究提案（令和5年1月12日～録画配信）

全体研究会Ⅰでは、全事研本部の研究の方向性を示す機会として、本部研究の提案を行います。このことにより、テーマと課題の共有が可能となり、分科会討議が更に深まるものと考えます。

本部研究として、テーマである「次世代の学校づくりを推進するヒューマンリソース」について次世代の学校づくりを推進するヒューマンリソースの在り方と、そのマネジメントを担う事務職員・共同学校事務室の役割、力量形成について提案します。

子どもが未来を自分らしく、そして幸せに生きていくための力をはぐくむために学びの変革が求められています。子どもの豊かな学びの場は、学校・家庭・地域がビジョンを共有し、価値観や背景等の異なるより多くの人材が子どもの学びへかかわることで協創されます。そのため、多様な人材の当事者意識を醸成し、人々の想いの実現と学校づくりをも結び付けていくヒューマンリソース・マネジメントが必要だと考えます。

本研究では、そのようなヒューマンリソース・マネジメントを担う事務職員・共同学校事務室の在り方について、二つの視点から迫ります。一つ目は、人の多様性を生かした協働体制の確立です。事務職員・共同学校事務室が、学校にかかわる一人一人が十分に力を発揮できる環境や、個人が活動を通して自らも成長することのできる条件の整備によって多様な人的資源の可能性を引き出し、持続可能な協働体制を構築する姿を描きます。二つ目は、人材戦略による各主体のパフォーマンスの向上です。子どもを取り巻く環境が複雑かつ多様なものになっているなか、組織の機能を最大限に高めるには、あらゆる人材をどのように活用していくか、どのように目標達成のためのヒューマンリソースとして定着させるかなど、その計画立てが重要です。事務職員・共同学校事務室が、集積した情報を基に様々な経営資源を効果的に組み合わせた人材戦略を立案し、実施・評価・改善のサイクルを回して子どもの学びにおけるヒューマンリソースの価値を高めていく姿を描きます。

また、これからの事務職員は、従来の考えに縛られない発想やアイデアをもって学校の課題を解決していくことが重要だと捉え、ヒューマンリソースの活用にも欠かせないものと考えます。そのための学びの在り方や体系的な研修、キャリアデザインについても追究します。

3 分科会テーマと概要 支部研究提案（令和5年1月13日～録画配信）

研究討議（令和5年1月26・27日ライブ配信、以降録画配信）

第9次研究中期計画の4年次の分科会として大会テーマ「次世代の学校づくりを推進するヒューマンリソース」の下、それぞれに積み重ねられた特色ある研究発表と討議が展開されます。

□本部研究分科会

本部研究テーマ「次世代の学校づくりを推進するヒューマンリソースー子どもの生きる力をはぐくむ持続可能な人材戦略ー」について全体研究会Ⅰでの提案に基づく研究討議を行い、研究の更なる深まりを目指します。

討議の柱 （1）人の多様性を生かした協働体制を構築する学校の在り方

（2）ヒューマンリソース・マネジメントを推進する事務職員・共同学校事務室

□第1～6分科会

本大会では、長崎支部と岡山支部、徳島支部、香川支部、高知支部、愛媛支部の協力を得て分科会を行います。各分科会では、それぞれの支部で積み上げられた研究に基づく提案と、それを基にした研究討議が行われます。どのような場所からも様々な人とつながることができるオンラインの特性を生かし、工夫を凝らした分科会運営によって、参加者は今後の実践につながるヒントを見出せるのではないかと期待しています。

4 全体研究会Ⅱ（シンポジウム）（令和5年2月7日～録画配信）

全体研究会Ⅱでは、大会のまとめとしてシンポジウムの録画配信を行います。テーマを「次世代の学校づくりを推進するヒューマンリソース」とし、シンポジストそれぞれの立場から御発言いただき、社会が大きく変わっていくなかで、地域とともにある学校を実現していく次世代の学校の姿を考えるとともに、人材戦略によって子どもの学びを支援していく事務職員の役割について意見を交換し未来を展望します。ヒューマンリソース・マネジメントにおける学校事務の在り方を共に考え、明日への一步を踏み出す機会となれば幸いです。

分科会提案概要

第1分科会 長崎支部

2022 長崎 学校事務の変

— 様々な資源と学校をつなぐ「Hub」となる学校事務職員 —



【提案内容】

長崎県公立小中学校学校事務職員研究会（長事研）は、設立以来、会員相互の連携を基に学校事務の研究と事務職員制度の確立を推進し、学校事務職員の資質及び社会的地位の向上を図り、もって長崎県の教育の振興に寄与することを目的として、研究を行ってきました。

今回の大会テーマである「ヒューマンリソース」について長事研では、資源でもあり、資源を動かす原動力でもある人（事務職員）の個性あふれる無限の可能性を大いに引き出すことが最大のミッションであると考えます。事務職員一人一人が、人財（学校における重要なHub）となり、様々な資源に付加価値を付けつなぎ、動かす、その結果が、学校（子どもたち・職員）、地域へとつながり、学校を中心として豊かな地域が創造されるのではないのでしょうか。

本分科会では、長崎の「学校事務のグランドデザイン」を中心として、学校教育目標実現に向け、事務職員が重要なHubとなり主体的に実践していくために、求められる役割や組織の在り方、必要な能力、力量形成（育成・開発）の在り方について、現在の長崎の実情を踏まえながら提案したいと考えています。

【討議の柱】

- (1) グランドデザインについて
- (2) 研修制度について

第2分科会 岡山支部

「チーム学校」の原動力となるために

— 事務職員が人財となる・人財をつなぎ組織力を高める —



【提案内容】


Society5.0の実現に向けた教育・人材育成では、多様性が重視されており、学校だけですべてを担うのではなく、多様な人々、関係者等と協働体制を構築し、すべての子どもの可能性を引き出すことが求められています。そのためには、校内はもちろんのこと学校外の方々も含めた「チーム学校」が機能することが重要です。リソース・マネージャーである事務職員は「チーム学校」の要になることができると考えました。

岡山支部では支部のグランドデザインの下、岡山大会からの課題「リソース・マネージャーとして『人』『時間』をどのように捉え、どうかかわっていくのか」を中心に「ヒューマンリソース」を「事務職員が人財となる」「人的資源をつなぎ組織力を高める」の二つの視点から研究を進めてきました。「事務職員が人財となる」ためにはマネジメント能力の育成が必要と考え、グランドデザインを基にした四つのスモールステップの考え方を研修会で提案しました。また「人的資源をつなぎ組織力を高める」ために、事務職員の連携機能に着目したアンケート調査を行い、課題を整理しました。


支部の取組で出てきた課題を提示し、事務職員の育成と共同学校事務室としての取組について皆さんと考えていきたいと思っております。

【討議の柱】


- (1) 個を生かす組織への変革と連携体制の在り方について



第3分科会 徳島支部



Make a リーダー！

- 標準的職務通知が発出された今、
なりたい事務職員になる！〇〇を越えて —
- 

【提案内容】

徳島県では、令和3年4月15日に各市町村教育委員会教育長に向けて、「市町村立小中学校事務職員の標準的職務の改正について（通知）」が発出されました。


この通知では新たに「事務職員が積極的に参画する職務」と「事務室長（グループリーダー）及びサブリーダーが担う職務」とが明確に区分されたことにより、各事務職員がこれまで以上に自覚をもち、グループリーダーがリーダーシップをより発揮できるようになった瞬間でした。

そこで徳島県公立小中学校事務職員研究会は、標準的職務通知とこれからの学校や学校事務について、一人一人の考えと現状を把握するため、令和3年12月に「学校事務・事務職員に関する調査」を実施しました。兼ねてからの課題である「次世代のリーダー育成」に対し、調査結果から、「主体性」に人材育成の焦点を当てることにしました。主体性を高めるという観点から、リーダーの育成や標準的職務の充実へもアプローチできるのではないかと考えたからです。


本分科会では、企業の視点を取り入れた主体性を高める取組と、つかさどる職として目指す未来構想「学校事務グランドデザイン21Ver.4」を提案発表します。

【討議の柱】


- (1) 次世代のリーダー育成に向けて
- (2) 標準的職務通知を受けて、徳事研が考える学校事務の在り方とは



第4分科会 香川支部



令和！めざせ！進化系事務職員

- 二刀流ならぬ三刀流？ユーティリティプレイヤーへの挑戦 —
- 

【提案内容】

香川県公立小中学校事務職員協会研究部では、職務の多様化や複雑化に対応するため、また若年層の増加に伴う学校事務の質の保持や事務処理体制の充実のため、人材育成に関する研究を進めてきました。令和2年度から始動している第3次中期研究計画では、「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務～つなぐ ひろがる 進化する～」をテーマに設定し、三つの年次別観点「人材育成」、「学校事務組織」、「地域協働」を通して、これからの学校に求められる、新たな事務職員像の研究に取り組んでいます。

これまで事務職員が培ってきた知識・経験を基礎力とした上で、「次世代の人材育成」には、変化し続ける社会情勢や職務環境に対応していくための応用力（進化力）の育成が重要です。そこで「主体性」をキーワードに設定しました。


本分科会では、自ら目標管理をし、キャリアを踏まえた研修を選択して主体的に学び続ける、「進化系事務職員」像の提案を行います。

「子どもたちのために頑張る教職員」のため、「自ら（事務職員）のキャリア」のため、また何よりも「子どもたちの豊かな未来」のため。


私たちに求められる役割は、まさに、二刀流ならぬ三刀流！どんなポジションでも輝ける、そんなユーティリティプレイヤーになるため、一緒に進化系事務職員を目指しませんか？

【討議の柱】

- (1) 「次世代の人材育成」とは
- (2) 主体性のある「進化系事務職員」とは



第5分科会 高知支部



企画系事務職員、成長中！

－ みんながハッピーになる教育環境の実現を目指して －



【提案内容】

教育をより良い方向へ発展させていくために、学校の使命とは？学校事務職員が目指すべき姿とは？時代の変化に対応した新たな役割が求められている今こそ、職業観をアップデートする時です。

高知県では目指す事務職員像を「常に目標に対する課題意識をもち、課題解決に向けた提言を積極的に行う事務職員」と定義しました。


つかさどる職として新たな役割を担い、学校経営に参画するためには「マネジメント」「コミュニティ」「コンプライアンス」「メンタリング」の四つの視点や要素が必要であると考え、それらを身に付けた姿を「企画系事務職員（仮名：つかさどる子ちゃん）」と名付けました。

つかさどる子ちゃんの成長には何が必要なのか、次世代の学校で果たすべき事務職員の役割を語り合い、新たな気付きや解決策を見出していきましょう。


学校教育にかかわるすべての人たちがヒューマンリソース（人財）であり、みんながハッピーになる教育環境の実現を目指して、成長する「企画系事務職員」について、実践例を交えて提案します。

【討議の柱】

- (1) 次世代の学校で事務職員は何をするのか
- (2) 「企画系事務職員」が成長していくためには、何が必要か



第6分科会 愛媛支部



学校力を高める学校事務の在り方

－ 学校事務のバージョンアップと学校事務職員のグレードアップ －



【提案内容】

愛媛県教育研究協議会事務職員部では、学校の教育を提供するために組織として機能する力、すなわち、家庭や地域社会の支援によって生まれる学校の統合された力を「学校力」と捉え、「学校力を高める学校事務の在り方」を研究主題に、課題解決に向けた研究実践活動を行っています。

学校は教育目標の具現化に向け、学校にかかわるすべての人材を生かした組織体制の構築が求められています。保護者や地域の期待や信頼に応える学校づくりを推進するために、チームとしての学校の一員である事務職員とそのバックボーンである共同学校事務室の役割を明確にし、学校運営に欠かせない人的資源をマネジメントするための資質・能力の向上、事務機能の強化に努めていく必要があります。

本分科会では、「学校事務という職のバージョンアップ」と「事務職員という人材のグレードアップ」により、愛媛の事務職員が描く学校事務像、事務職員像を目指し、愛顔（えがお）あふれる子どもの育ちを支援する「まじめえひめ」な研究成果を紹介します。

未来を担う子どもたちの豊かな育ちのために、これからの学校事務がどのようにバージョンアップしていくべきか、そして、事務職員がグレードアップしてどのような役割を果たすべきか、参会者の皆様とともに考え、深めていきたいと思えます。

【討議の柱】

- (1) 学校事務のバージョンアップとは
- (2) 事務職員が果たすべき役割とは
- (3) 学校事務と事務職員の可能性とは



全事研からのお知らせとお願い



- 全事研加入の御案内
全事研は、学校事務の研究・研修の場です。
未加入の方（団体）は、手続きをお願いいたします。
- 全事研加入に関する問い合わせ先
全国公立小中学校事務職員研究会 事務局長 おおくま やすゆき 大熊 康之
所属校 熱海市立熱海中学校（静岡）
所在地 〒413-0006 静岡県熱海市桃山町7-7
TEL 0557-81-0577 FAX 0557-85-2972



実行委員会からのお知らせとお願い



◆ 大会参加方法について

- ◇ 動画（録画）や資料の閲覧 …… **事前申込み不要**
第54回全国公立小中学校事務研究大会（愛媛大会）実行委員会より、各支部へ研究提案掲載URL及び質問フォームURLを送付しますので、会員への周知をお願いいたします。
- ◇ 各分科会 Zoomによる研究討議 …… **事前申込み必要**
令和5年1月26日（木）、27日（金）にWeb会議システム「Zoom」を使用し、定員制で開催します。研究討議への参加については事前申込みが必要となります。



Zoomによる研究討議ライブ配信の参加申込み期間



令和4年11月17日（木）～ 令和4年12月16日（金）予定

Zoomによる研究討議への参加御希望の方は、第54回全国公立小中学校事務研究大会（愛媛大会）実行委員会より、各支部へ参加申込フォームURLを送付いたしますので、そちらから手続きをしていただきます。

※各分科会は複数希望することができますが、定員（200名程度）を超える場合は、実行委員会で抽選させていただくことを御了承ください。

◎ 研究討議ライブ配信 開催日・時間（予定）

分科会	開催日	開催時間
本部研究分科会(全事研本部)	1月26日(木)	10:30 ~ 12:00
第1分科会(長崎支部)	1月26日(木)	13:00 ~ 14:30
第2分科会(岡山支部)	1月27日(金)	11:00 ~ 12:30
第3分科会(徳島支部)	1月27日(金)	13:15 ~ 14:45
第4分科会(香川支部)	1月27日(金)	15:00 ~ 16:30
第5分科会(高知支部)	1月27日(金)	9:15 ~ 10:45
第6分科会(愛媛支部)	1月26日(木)	14:45 ~ 16:15

※研究討議ライブ配信の録画配信を編集等終了後から2月17日(金)まで行います。
 ※討議円滑化のため、討議中にチャット機能があるアプリケーションや、Zoomのブレイクアウトルーム機能を使用することがあります。
 ※Zoomによる研究討議参加者は、指示がない限り音声をミュートにして参加をお願いいたします。また、顔や背景等の映像がカメラをオフにしない限り映りますのであらかじめ御了承ください。

※Zoomによる研究討議については、発信側受信側双方の通信環境や設備・機能に影響され、想定外の不具合が生じることがあります。研究討議のライブ配信当日は、Zoomに関する使用方法・接続方法等、参加者個々の技術的な問題についての御対応はできません。

◆ 研究集録について

研究集録は、冊子による配付はありません。

第54回全国公立小中学校事務研究大会（愛媛大会）実行委員会より、各支部へ掲載URLを御案内いたしますので、各自ダウンロードでの御対応をお願いいたします。

◆ 録音等について

掲載された愛媛大会関係各種ファイル及び動画については、録音、録画、写真保存及び無断転載等を行わないようお願いいたします。

◆ 問い合わせ

◇ 大会全般に関すること

第54回全国公立小中学校事務研究大会（愛媛大会）実行委員会 事務局長 田淵 節子
 〒799-2652 愛媛県松山市福角町甲1409-2 松山市立堀江小学校
 TEL 089-978-0015 FAX 089-978-5562

◇ 参加申込みに関すること

第54回全国公立小中学校事務研究大会（愛媛大会）実行委員会 総務部長 石野 学
 〒799-3113 愛媛県伊予市米湊500-1 伊予市立港南中学校（港南共同学校事務室）
 TEL 089-982-0068 FAX 089-983-1676

※研究討議ライブ配信当日と準備日(1月25日(水)～1月27日(金))は、問い合わせ担当が学校に不在のため、皆様からのお問い合わせに対応できません。あらかじめ御了承ください。



子どもの豊かな育ちを支援する



全国公立小中学校事務職員研究会
URL:<https://zenjiken.jp> E-mail: info@zenjiken.jp